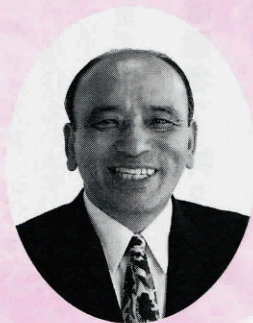


新世紀『主役は町民』



三隅町議会議長

田中

勤

新年あけましておめでとうございます。

町民の皆様におかれましては、希望に満ちた輝かしい初春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

長引く景気低迷のなかで、昨年もいろいろな意味で大変に厳しい一年でございました。

本年は新世紀の扉が開かれた記念すべき年であり、何か厳かで歴史的な意義深い年のように感じられます。

ここ十年あまりの短期間に国の内外には大きな変革の波が押し寄せてまいりました。どこの自治体にも共通する厳しい財政環境、少子・高齢化の進展、国際化や情報化への対応、環境問

題などの大きな課題が山積し、戦後五十五年間にわたって築き上げてきた社会システムに大きな転換が迫られつつあります。

地方行政が担う役割は幅広く産業、福祉、教育、文化、防災と数え上げれば枚挙にいとまがありません。

「今、我が町の施政の優先は何か。住む人が幸せを実感し、人を惹きつけ住みたくなる三隅町の創造に向けて、何をなすべきか。」

今日のような不透明な時代だからこそ、私たち議会議員は、清新で活発な議会活動を通じて、地域住民のニーズに十分に応える先導的役割を果たす心意気で、町勢発展の一翼を担わなければ

なりません。

昨年秋の国勢調査で、我が町の人口は、大きく減少しました。若い人たちに魅力ある環境を整備しなければ、人口流出は加速し町の活力は目を覆うばかりになりかねません。

政治の主人公は、選挙権を持たない小さな子どもから、お年よりに至るまで一人ひとりの町民であって、議員や公務員の職務は、人々の願いを叶え幸せづくりに貢献することにあります。

議会は今後、ケーブルテレビによる議会中継などをより一層充実して、これまで以上に住民にわかりやすい議事の公開に努め、言論の府としての機能の充実に努める所存であります。

今年は、三月定例議会に第三次三隅町総合計画案が、執行部から提案されます。自然環境を大切にしながら、後世に誇りうる格調あるまちづくりとなるような総合計画であってほしいと願っています。

町民の皆様の一層のご健勝とご多幸をご祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

10月

はつらつステーションオープン



10月 空きビン・ペットボトル
分別収集開始

ふれあいパーク三隅竣工

(8月26日 竣工記念NHKラジオ体操)

